

Ⅲ 救急・救助

第1 救急活動の概況

1 救急業務実施体制

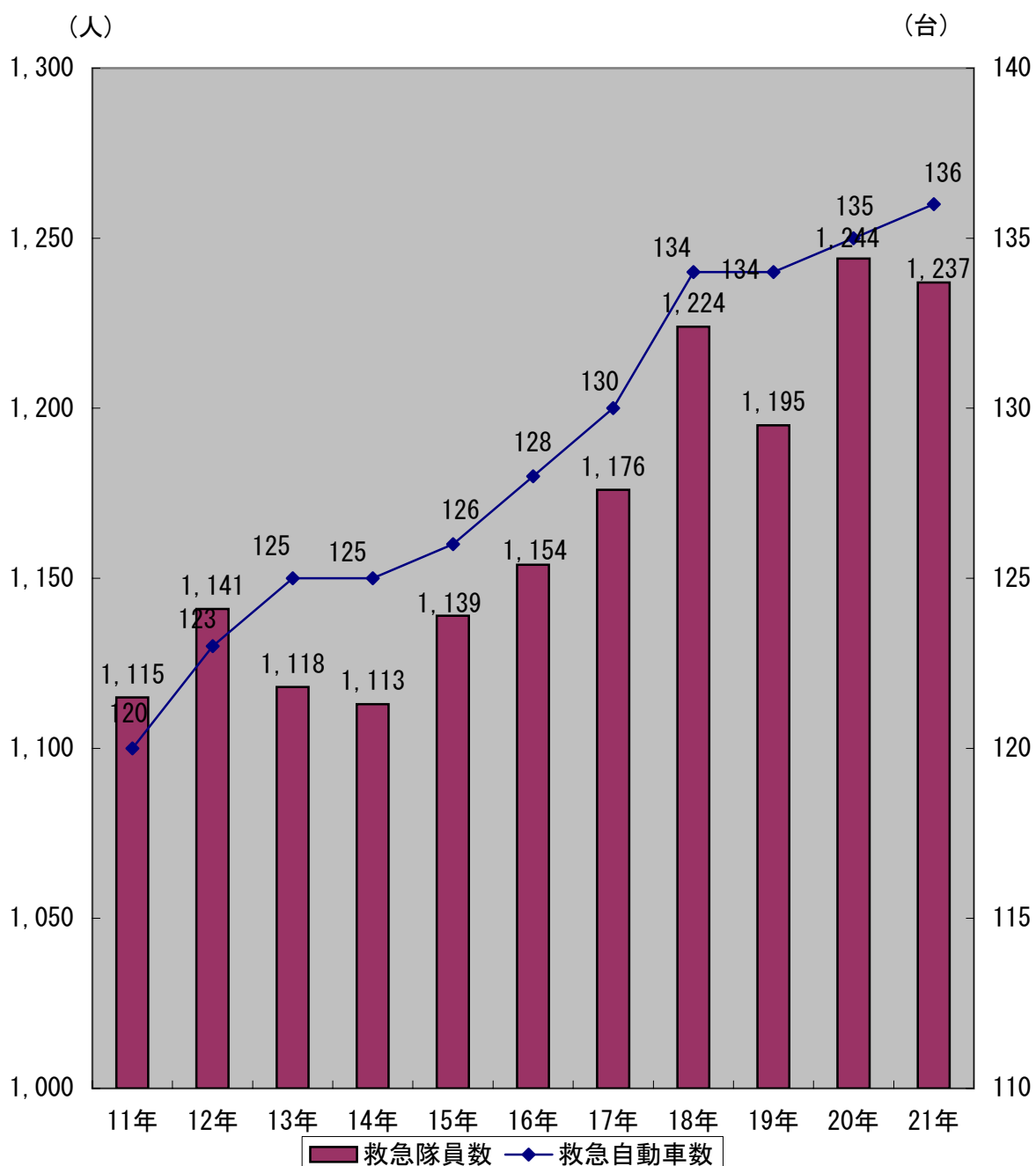
平成21年4月1日において救急業務を実施している市町村は43市町村で、県人口の95.6%がカバーされている。

救急自動車の保有台数は136台、救急隊員は1,237人（専任284人、兼任953人）で、前年に比べ救急隊員は7人減少している。また、救急告示医療機関は96機関、その他医療機関は1,519機関となっている。

平成3年8月にプレホスピタル・ケア充実の一環として、救急隊員の行う応急処置の範囲が拡大されるとともに、高度な応急処置を行うための新たな国家資格制度として救急救命士制度が導入され、救命率の向上を目指した救急業務の高度化が推進されている。

平成21年4月1日現在、県内全消防本部で救急救命士を運用（一部運用を含む）しており、資格者合計354名のうち342名が救急業務に従事している。

図-1 平成11年以降の救急自動車及び救急隊員数の推移 (各年4月1日現在)



2 救急業務実施状況

(1) 概要

平成20年中における救急出場件数は66,554件、搬送人員は62,812人で、これを昨年と比べると救急出場件数は1,432件(2.1%)、搬送人員1,749人(2.7%)の減少となっている。

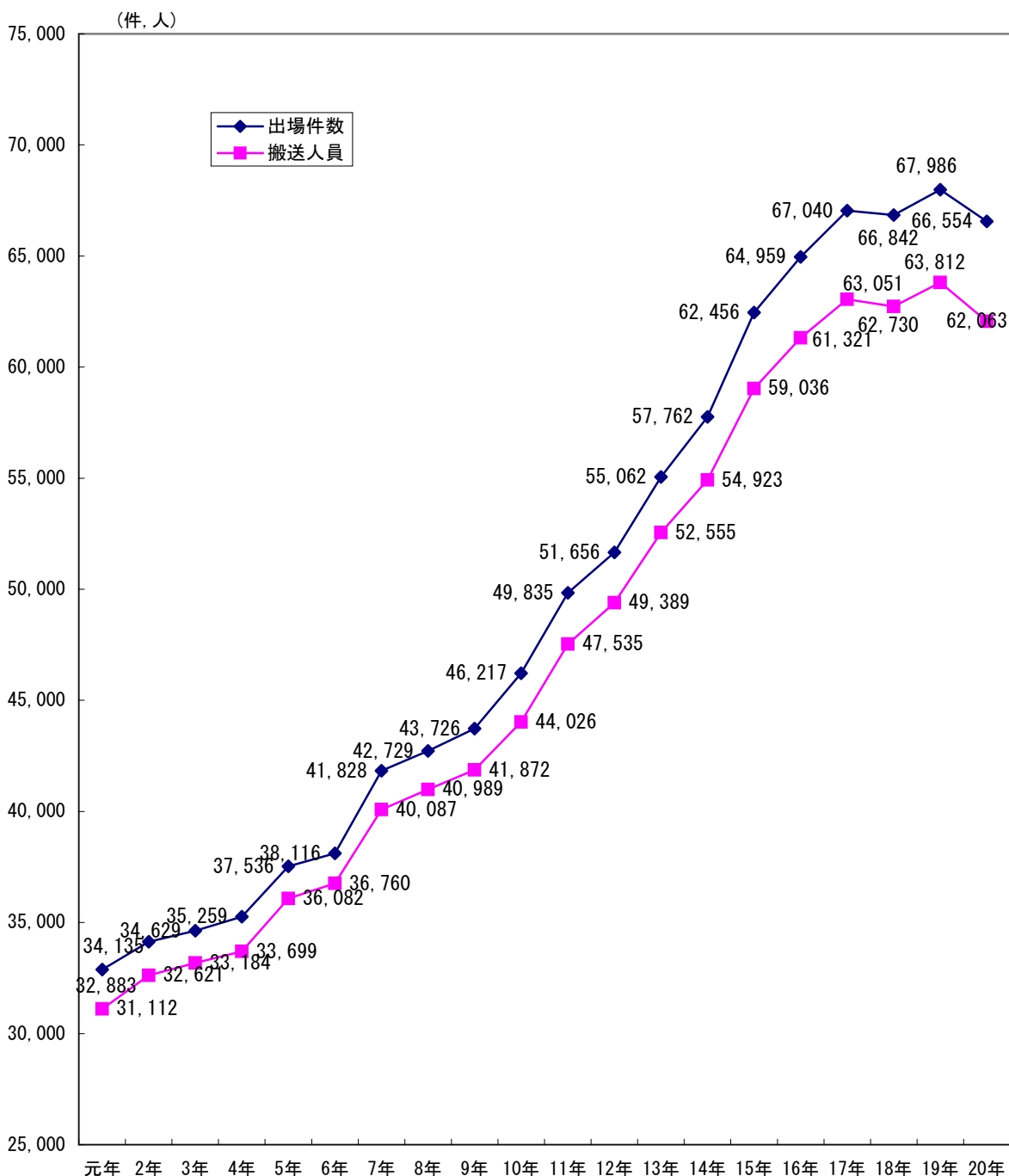
これは、1日平均182.3件(前年186.3件)、約7.9分に1回の割合で救急隊が出場し、また1日平均170.0人(前年174.8人)、約8.5分に1人、約28人に1人の割合で搬送されている。

事故種別救急出場件数は、前年と同じく1位が急病で37,343件(全体の56.1%)、次いで一般負傷8,242件(同12.4%)、交通事故が6,285件(同9.4%)となっている。

また、搬送人員については、救急出場件数と同様、1位が急病で34,386人(全体の55.4%)、次いで一般負傷が7,689人(同12.4%)、交通事故が6,578人(同10.6%)となり、上位3位までで全体の78.4%を占めている。

平成元年からの県内救急活動の推移は下図のとおりであるが、これまで平成18年を除き、搬送人員・出場件数とも増加の一途をたどっていたが、平成20年は減少に転じた。

図-2 平成元年以降の救急出動件数、搬送人員の推移



(2) 事故種別、傷病程度別及び年齢区分別搬送人員の状況

表-1 事故種別出場件数及び搬送人員の状況

(単位：件、人、%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
平成20年	出場件数	66,554	100.0	37,343	56.1	6,285	9.4	8,242	12.4	14,684	22.1
	搬送人員	62,063	100.0	34,386	55.4	6,578	10.6	7,689	12.4	13,410	21.6
平成19年	出場件数	67,986	100.0	37,994	55.9	6,777	10.0	8,174	12.0	15,041	22.1
	搬送人員	63,812	100.0	35,258	55.3	7,257	11.4	7,671	12.0	13,626	21.4
増減	出場件数	△ 1,432	—	△ 651	—	△ 492	—	68	—	△ 357	—
	搬送人員	△ 1,749	—	△ 872	—	△ 679	—	18	—	△ 216	—

(注) その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院搬送・医師搬送・資機材等搬送・その他)を示す。

ア 年齢別搬送人員

搬送人員の年齢別事故種別をみると、高齢者、成人では、急病が高い率を占め、少年は交通事故が高い比率を占めている。

表-2 年齢別搬送人員の状況

(単位：人、%)

区分		計		急病		交通事故		一般負傷		その他	
			構成比		構成比		構成比		構成比		構成比
新生児	159	100.0	17	10.7	0	0.0	4	2.5	138	86.8	
乳幼児	2,371	100.0	1,359	57.3	169	7.1	553	23.3	290	12.2	
少年	2,513	100.0	832	33.1	841	33.5	280	11.1	560	22.3	
成人	22,044	100.0	11,479	52.1	4,013	18.2	1,965	8.9	4,587	20.8	
高齢者	34,976	100.0	20,699	59.2	1,555	4.4	4,887	14.0	7,835	22.4	
計	62,063	100.0	34,386	55.4	6,578	10.6	7,689	12.4	13,410	21.6	

(注) 新生児：生後28日未満の者

乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者

少年：満7歳以上満18歳未満の者

成人：満18歳以上満65歳未満の者

高齢者：満65歳以上の者

イ 傷病程度別搬送人員

平成20年中における搬送人員は62,063人であるが、これを傷病程度別にみると、軽症、中等症の両者で全体の81.9%を占めている。

表-3 傷病程度別搬送人員の状況（事故種別）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
火災	72	100.0	1	1.4	19	26.4	23	31.9	29	40.3		
自然災害	5	100.0			1	20.0			4	80.0		
水難	43	100.0	9	20.9	8	18.6	12	27.9	14	32.6		
交通事故	6,578	100.0	25	0.4	451	6.9	1,754	26.7	4,332	65.9	16	0.2
労働災害	476	100.0	7	1.5	102	21.4	221	46.4	145	30.5	1	0.2
運動競技	512	100.0	1	0.2	25	4.9	178	34.8	308	60.2		
一般負傷	7,689	100.0	47	0.6	1,044	13.6	3,053	39.7	3,518	45.8	27	0.4
加害	292	100.0	2	0.7	14	4.8	93	31.8	181	62.0	2	0.7
自損行為	662	100.0	56	8.5	153	23.1	270	40.8	181	27.3	2	0.3
急病	34,386	100.0	459	1.3	4,131	12.0	16,959	49.3	12,782	37.2	55	0.2
その他	11,348	100.0	9	0.1	4,457	39.3	6,337	55.8	406	3.6	139	1.2
計	62,063	100.0	616	1.0	10,405	16.8	28,900	46.6	21,900	35.3	242	0.4

※ 死 亡：初診時において、死亡が確認されたもの
 重 症：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
 中等症：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽 症：傷病の程度が入院を必要としないもの
 その他：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

また、年齢別にみると、新生児、高齢者の場合は中等症の割合が高いのに対し、乳幼児、少年、成人の場合は、軽症の比率が高くなっている。

表-4 傷病程度別搬送人員の状況（年齢別区分）

（単位：人，％）

区 分	合計		死亡	重症		中等症		軽症		その他		
	合計	構成比		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比			
新生児	159	100.0	2	1.3	45	28.3	90	56.6	17	10.7	5	3.1
乳幼児	2,371	100.0	4	0.2	139	5.9	595	25.1	1,620	68.3	13	0.5
少年	2,513	100.0			141	5.6	802	31.9	1,559	62.0	11	0.4
成人	22,044	100.0	131	0.6	2,495	11.3	9,114	41.3	10,223	46.4	81	0.4
高齢者	34,976	100.0	479	1.4	7,585	21.7	18,299	52.3	8,481	24.2	132	0.4
計	62,063	100.0	616	1.0	10,405	16.8	28,900	46.6	21,900	35.3	242	0.4

- (3) 現場到着所要時間及び収容所要時間の状況
 平成20年中の救急出場件数66,554件について現場到着所要時間別（救急事故の覚知から現場に到着するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると最も多いのは、5分以上～10分未満の34,918件で全体の52.5%を占めている。

表-5 現場到着時間別出場件数

区分	計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	収容平均 所要時間	
							県	全国
急病	37,343	1,306	6,144	20,036	9,065	792	7.9分	—
交通事故	6,285	291	1,274	3,249	1,364	107	7.5分	—
一般負傷	8,242	327	1,342	4,447	1,913	213	8.0分	—
その他	14,684	1,231	4,055	7,186	1,987	225	6.4分	—
計	66,554	3,155	12,815	34,918	14,329	1,337	7.5分	7.7分
構成比	100.0%	4.7%	19.3%	52.5%	21.5%	2.0%	—	—

平成20年中の搬送人員62,063人について、収容所要時間別（救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間別）の状況を示したものが下表である。
 これによると搬送人員のうち33,784人（54.4%）が30分未満で収容されていることになる。

表-6 収容所要時間搬送人員

区分	計	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分 以上	収容平均 所要時間	
								県	全国
急病	34,386	106	6,105	12,414	14,346	1,382	33	31.2分	—
交通事故	6,578	32	1,415	2,423	2,510	190	8	29.7分	—
一般負傷	7,689	34	1,433	2,693	3,168	345	16	30.5分	—
その他	13,410	105	3,374	3,650	4,830	1,369	82	33.8分	—
計	62,063	277	12,327	21,180	24,854	3,286	139	31.7分	35.0分
構成比	100.0%	0.4%	19.9%	34.1%	40.0%	5.3%	0.2%	—	—

(4) 転送の状況

搬送人員62,063人のうち99.2%は、転送なしで収容されているが、0.8%（515人）にあたる人は転送されている。

そのうち、転送回数1回の者が転送者全体の98.8%を占めている。

表-7 転送回数別搬送人員の状況

区分	計	急病	交通事故	一般負傷	その他	
転送なし	61,548	34,070	6,521	7,613	13,344	
転送	1回	509	313	57	76	63
	2回	6	3			3
	3回					
	4回					
	5回以上					
	小計 (A)	515	316	57	76	66
計 (B)	62,063	34,386	6,578	7,689	13,410	
転送率 (A)/(B) × 100	0.8	0.9	0.9	1.0	0.5	

転送理由についてみると、救急告示医療機関、非告示医療機関ともに処置困難が多く、次いで専門外、ベッド満床の順になっている。

表-8 医療機関転送理由の状況

(単位：件，%)

区分	合計	ベッド満床	専門外	医師不在	手術中	処置困難	理由不明	その他	
救急告示	構成比	100.0	1.2	37.6	1.2		48.5	0.6	10.9
		165	2	62	2		80	1	18
非告示	構成比	100.0	3.1	35.2	0.3		53.0		8.5
		355	11	125	1		188		30
計	構成比	100.0	2.5	36.0	0.6		51.5	0.2	9.2
		520	13	187	3		268	1	48

(5) 救急隊員の行った応急処置の状況

平成20年中に転送された人員のうち、救急隊員によって応急処置された人の事故種別、処置項目状況をみると、急病においては、血中酸素飽和度の測定が最も多く、次いで血圧測定が多い。

また、交通事故、一般負傷においても、血中酸素飽和度の測定・血圧測定の順で処置が多くなっている。

表-9 救急隊員の行った応急処置の状況

(単位:人)

処置項目	事故種別	計	急病	交通事故	一般負傷	その他
	応急処置対象搬送人員					
		59,147	33,696	6,278	7,374	11,799
止	血	1,639	156	440	832	211
固	定	4,599	148	2,707	1,153	591
人 工 呼 吸		356	240	24	29	63
心 マ ッ サ ー ジ		116	87	6	8	15
心 肺 蘇 生		1,458	1,091	44	130	193
酸 素 吸 入		16,236	10,271	630	719	4,616
気 道 確 保		2,229	1,625	75	192	337
(再掲)気道確保のうち気管挿管		158	100	2	35	21
保 温		2,661	1,691	157	312	501
被 覆		3,692	118	1,447	1,674	453
在 宅 療 法 継 続		130	115		4	11
ショックパンツによる血圧保持		4	1	1	2	
除 細 動		171	146	4	10	11
静 脈 路 確 保 (輸 液)		298	223	4	36	35
薬 剤 投 与		27	19	1	3	4
血 圧 測 定		51,786	30,674	5,725	6,361	9,026
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		7,403	5,263	727	646	767
血 中 酸 素 飽 和 度 の 測 定		56,300	32,441	6,004	6,850	11,005
心 電 図		13,331	10,151	379	619	2,182
そ の 他 の 応 急 処 置		14,718	10,364	835	1,374	2,145
計(再掲の気管挿管を除く)		177,154	104,824	19,210	20,954	32,166

(注) 一人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの処置項目の計の数は一致しない。

(6) 高速道路における救急業務の状況

高速自動車国道における救急業務実施体制は、平成21年4月1日現在、九州縦貫自動車道のうち鹿児島インターチェンジから宮崎インターチェンジ並びにえびのインターチェンジから人吉インターチェンジまでを沿線2市2組合で、相互応援協定を締結し、上下線方式により、第1次出場をインターチェンジ所在の常備消防が担当する体制を整えている。東九州自動車道31.7kmは沿線1市1組合が担当している。

県内においては、上り線が鹿児島インターチェンジから宮崎県えびのインターチェンジまでの69.8kmについて、第1次出場を担当し、救急業務を行っている。

なお、平成20年中の本県における救急活動は、下表のとおりである。

高速自動車道における救急活動状況

表-10 九州自動車道

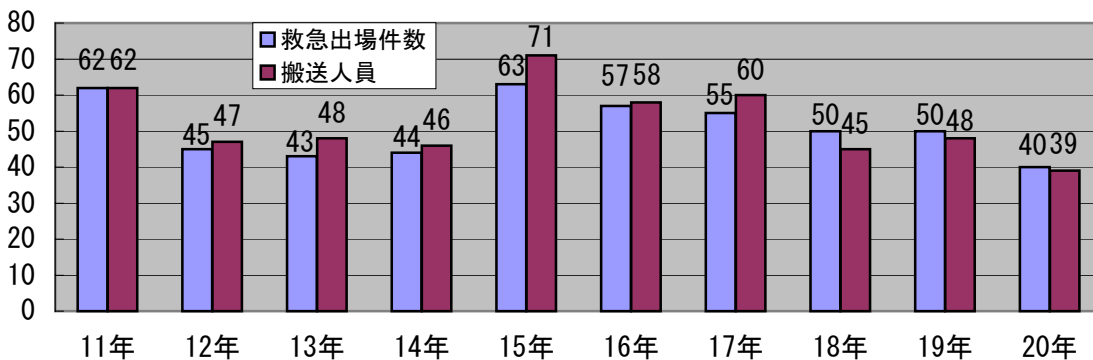
区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
鹿児島市消防局	鹿児島	1		24	昭和63.3.29
	鹿児島北	5	6	3	昭和52.11.15
	薩摩吉田	4	7		昭和48.12.13
始良郡西部消防組合	始良	11	10	1	昭和48.12.13
	加治木	4	4	1	昭和48.12.13
霧島市消防局	溝辺鹿児島空港	8	5		平成17.11.7
	横川	4	5		平成17.11.7
伊佐湧水消防組合	栗野	1			昭和55.3.22
計	8 I C	38	37	29	

(注) 医療機関は、インターチェンジから半径5キロメートルの範囲にあるものである。

表-11 東九州自動車道

区 分	インターチェンジ名 (I C)	救急出場件数	搬送人員	救急告示 医療機関数	高速道路に おける救急活動 開始年月日
霧島市消防局	国分	1	1	3	平成14.3.2
	隼人東			1	平成12.3.4
大隅曾於地区消防組合	末吉財部	1	1		平成14.5.9
計	3 I C	2	2	4	

図-3 最近10年間の高速自動車道における救急出場件数及び搬送人員



3 プレホスピタル・ケアの充実

プレホスピタル・ケア（救急現場及び搬送途上における応急処置）の一層の充実を図るために、平成3年8月に「救急隊員の行う応急処置等の基準」が改正され、これに伴い消防学校における新たな教育訓練（救急標準課程（平成16年4月1日より救急科に改称）及び救急Ⅱ課程）の修了者は、従来の応急処置に加えて9項目の処置を行うものとされ、救急救命士資格者は、医師の指示の下にさらに高度な応急処置（特定3項目）をも行うものとされた。

これに伴い、消防学校における救急科（救急標準課程）の修了者が計画的に養成されるとともに、救急救命士についても県内全消防本部において運用され、資格者、高規格救急自動車のいずれも着実に増加している。また、救急救命士の質の向上による救命効果を高めるため、平成15年2月に消防機関、救急医療機関、医師会などにより構成される鹿児島県救急業務高度化協議会を、同年3月に6地域（薩摩、北薩、始良伊佐、大隅、熊毛、大島）に地域救急業務高度化協議会を設置し、本県における救急業務の高度化について協議を行い、平成15年4月から包括的除細動を実施し、平成16年7月から認められた医師の具体的指示下での気管挿管についても救急業務高度化協議会で承認された病院で、体制の整った消防本部から順次病院実習を実施し、154名が認定を受け15消防本部で実施が可能となっている。また、平成18年4月から認められた医師の具体的指示下での薬剤投与についても113名が認定・登録を受け、17消防本部で実施が可能となっている。

さらに、救急現場近くの一般市民による応急手当を促進するため、平成20年12月末までに応急手当指導員2,070名、応急手当普及員323名が県内消防本部により養成され、住民に対する応急手当講習会が次のとおり実施されている。なお、平成16年12月に応急手当の普及啓発活動の推進に関する実施要綱の一部改正により、非医療従事者による自動体外式除細動器（AED）の使用が可能となったことから、AEDの内容を含めた救命講習の実施率が高くなっている。

平成20年中の住民に対する応急手当講習会実施状況

普通救命講習	781回	15,568名受講
上級救命講習	14回	198名受講
その他の講習	1,583回	53,573名受講
計	2,378回	69,339名受講

表-12 救急業務高度化の推進状況

各年4月1日現在

区分	平成21年	平成20年	対前年比較	
			増減数	増減率
救急救命士運用消防本部数	19	19		1.00
救急隊員数①	1,237	1,244	△ 7	0.99
うち救急救命士有資格者②	342	312	30	1.10
(②/①:%)	(27.6%)	(25.1%)		
(②のうち気管挿管認定者)	154	114	40	1.35
(②のうち薬剤投与認定者)	113	50	63	2.26
うち救急科（救急標準課程）・救急Ⅱ課程修了者③	829	848	△ 19	0.98
(③/①:%)	(67.0%)	(68.2%)		
救急自動車数④	136	135	1	1.01
うち高規格車⑤	59	57	2	1.04
(⑤/④:%)	(43.4%)	(42.2%)		
救急隊数⑥	104	105	△ 1	0.99
うち救急救命士運用隊⑦	77	74	3	1.04
(⑦/⑥:%)	(74.0%)	(70.5%)		

※救急救命士については、上記342名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる。（有資格者は、354名）

表-13 救急業務実施体制等の状況（消防本部設置市町村）

区分 消防本部別	人口 (人) H17年 国調	面積 (km ²) H20.10.1 国地院	救 急 体 制										
			救急車総数			救急 隊数	救急 救命 士運 用隊 数	救急隊員数					
			うち 高規 格	うち 予備 車	計			うち資格者・修了者			専任	兼任	
								救急 救命 士	標準 課程	救急 Ⅱ課 程			
鹿児島市消防局	604,367	547.06	20	10	5	15	10	148	49	55	37	78	70
出水市消防本部	57,907	330.06	4	3	1	3	3	49	17	14	9	18	31
垂水市消防本部	18,928	162.02	3	1	1	2	1	30	6	15	9		30
薩摩川内市消防局	102,370	683.50	9	3	2	7	4	71	26	28	12	29	42
日置市消防本部	52,411	253.06	5	3	2	3	3	42	12	18	6	12	30
霧島市消防局	127,309	603.68	8	4		8	7	96	25	45	18	25	71
いちき串木野市 消防本部	32,993	112.04	3	2	1	2	2	31	9	9	10		31
さつま町消防本部	25,688	303.43	3	2	1	2	2	27	10	13	4	9	18
指宿地区消防組合	60,948	259.32	5	3		5	3	62	20	33	8		62
始良郡西部消防組合	74,840	231.31	4	1	1	3	1	24	8	9	3	20	4
南薩地区消防組合	94,892	605.77	11	4	1	10	9	134	28	70	34	28	106
阿久根地区消防組合	37,030	250.49	8	2	4	4	2	55	9	21	23		55
伊佐湧水消防組合	44,065	536.69	6	2	1	5	2	52	11	20	19		52
大隅曾於地区消防組合	92,360	780.66	6	4	1	5	4	50	23	22	4	32	18
大隅肝属地区消防組合	151,549	1,160.88	10	4	1	9	9	92	27	35	14	24	68
沖永良部与論地区 広域事務組合消防組合	20,282	114.15	4		2	2	2	30	7	7	16		30
徳之島地区消防組合	27,167	247.91	4		1	3	1	40	5	14	21		40
熊毛地区消防組合	47,904	994.96	10	5	4	6	6	82	27	19	36		82
大島地区消防組合	79,034	878.28	13	6	1	10	6	122	23	50	49	9	113
計	1,752,044	9,055.27	136	59	30	104	77	1,237	342	497	332	284	953

※救急救命士については、上記342名の外、救急自動車に同乗しない資格者が12名いる。
（有資格者は、354名）

[現場到着平均所要時間及び収容平均所要時間は平成20年中、左記以外は平成21年4月1日現在]

医 療 機 関 数												人口10万人 当たりの救急医 療機関数	現場到着 平均所要 時間 (分)	収容平均 所要時間 (分)
合計	救急告示医療機関					その他の医療機関								
	国 公 立	公 的	私 的		計	国 公 立	公 的	私 的		計				
病 院			診 療 所	病 院				診 療 所						
634	3	3	27	4	37	16	8	67	506	597	6.1	6.7	25.7	
42	2				2	2		4	34	40	3.5	7.6	31.6	
10	1		1		2			1	7	8	10.6	4.5	29.3	
129		1	4		5	16	4	11	93	124	4.9	8.6	32.9	
42			1		1	1		7	33	41	1.9	7.6	33.0	
115	1		4	2	7	1		10	97	108	5.5	8.0	35.7	
29								8	21	29		4.6	27.3	
20								6	14	20		8.5	34.2	
54	1		3	1	5			10	39	49	8.2	5.9	32.8	
62			2		2	2		9	49	60	2.7	5.9	28.8	
88	2		5		7	4		12	65	81	7.4	5.9	31.2	
22			2		2	3		1	16	20	5.4	8.5	37.3	
34	1		2		3			4	27	31	6.8	6.7	31.9	
71			1	1	2			10	59	69	2.2	9.7	41.1	
150	2		6	2	10	14		14	112	140	6.6	9.9	38.3	
13			2		2				11	11	9.9	7.3	25.6	
13			2		2	1		1	9	11	7.4	8.2	32.4	
25			2		2	5		2	16	23	4.2	8.4	34.9	
62	1		4		5	7		5	45	57	6.3	9.4	38.7	
1,615	14	4	68	10	96	72	12	182	1,253	1,519	5.5	7.5	31.7	

表-14 消防本部救急出場件数及び搬送人員

区分		事故種別救急出場件										
		計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病
消防本部名												
鹿児島市消防局		21,587	134	1	12	2,263	165	150	2,665	131	408	12,144
出水市消防本部		2,025	2		3	221	18	10	212	11	38	1,225
垂水市消防本部		970			1	91	5	3	104	1	7	554
薩摩川内市消防局		3,630	17		3	301	25	23	428	15	36	2,103
日置市消防本部		1,860			3	152	19	27	267	8	13	970
霧島市消防本部		5,082	12		8	633	31	28	631	29	66	2,764
いちき串木野市消防本部		1,205		1	1	96	10	5	146	1	9	551
さつま町消防本部		956	1		1	88	12	16	106	2	10	502
指宿地区消防組合		2,412	1		1	190	18	23	320	5	31	1,207
始良郡西部消防組合		2,693	1	1	3	286	21	39	346	20	35	1,411
南薩地区消防組合		3,875	3		8	342	40	49	464	13	47	1,972
阿久根地区消防組合		1,713			4	96	15	9	223	10	24	1,002
伊佐湧水消防組合		1,675	2		1	127	10	14	213	4	25	846
大隅曾於地区消防組合		3,548	7			360	37	20	443	8	58	2,073
大隅肝属地区消防組合		5,416	8	1	1	623	37	35	607	24	58	3,012
沖永良部与論地区広域事務組合		640	2			45	3	8	94	6	8	374
徳之島地区消防組合		1,561	3		1	55	5	13	213	10	15	1,135
熊毛地区消防組合		1,773	2	1	7	113	12	21	249	9	26	1,070
大島地区消防組合		3,933	3		14	203	15	21	511	30	61	2,428
計		66,554	198	5	72	6,285	498	514	8,242	337	975	37,343
時 間 区 分	0~2	3,080	14	1	3	154	9		335	76	63	2,096
	2~4	2,300	9			101	4		213	33	42	1,694
	4~6	2,214	8		5	121	5	1	186	20	48	1,673
	6~8	4,234	11	1	7	587	22	2	493	16	81	2,748
	8~10	7,930	9		5	796	99	31	1,045	18	99	4,166
	10~12	8,492	21	1	12	722	95	128	1,031	10	95	3,953
	12~14	7,594	20		9	659	62	100	900	16	95	3,663
	14~16	7,178	24		9	753	108	121	935	18	87	3,549
	16~18	7,192	30		12	918	64	62	1,047	12	95	3,504
	18~20	6,649	25	1	4	793	16	24	828	27	99	3,917
	20~22	5,519	11	1	5	415	9	37	722	41	78	3,603
	22~24	4,172	16		1	266	5	8	507	50	93	2,777

〔平成20年中〕

数				事故種別搬送人員											
その他				計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
転院搬送	医師搬送	資輸 機材等送	その他												
2,878	1		635	19,655	24		5	2,304	158	143	2,458	117	294	11,104	3,048
277			8	1,886	2		2	225	17	10	198	11	25	1,119	277
199			5	953			1	119	5	3	98	1	2	521	203
654			25	3,409	6		2	337	22	23	396	14	22	1,962	625
400			1	1,815			2	165	19	27	262	8	12	922	398
872			8	4,753	8		3	620	30	27	588	23	47	2,533	874
355			30	1,149		3		95	10	5	134	1	5	514	382
217			1	931	1		1	92	12	16	105	2	9	479	214
611	1		4	2,289	1		1	205	17	23	295	4	22	1,108	613
527			3	2,534	1	1	2	295	19	40	328	15	23	1,283	527
918		1	18	3,714	3		3	383	39	51	447	14	29	1,824	921
323	1	1	5	1,654			3	105	15	9	218	8	15	960	321
421			12	1,621	2		1	147	10	14	207	4	17	794	425
530		1	11	3,401	7			389	36	22	421	8	39	1,948	531
1,000	1		9	5,197	6		1	683	36	34	580	19	43	2,794	1,001
23		1	76	594	2			46		11	85	5	2	345	98
65			46	1,497	3		2	60	5	13	204	7	8	1,084	111
145	1	1	116	1,701	2	1	6	125	12	20	235	7	20	1,021	252
577	1		69	3,310	4		8	183	14	21	430	24	28	2,071	527
10,992	6	5	1,082	62,063	72	5	43	6,578	476	512	7,689	292	662	34,386	11,348
229		1	99	2,805	4	3	5	151	9		299	67	51	1,962	254
137			67	2,094	2			103	4		198	27	34	1,576	150
104		1	42	2,015	5		2	122	5	1	175	16	32	1,549	108
199	1		66	3,894	9	1	1	590	20	2	459	12	41	2,533	226
1,569	1		92	7,471	4		3	825	95	31	1,008	17	63	3,839	1,586
2,283	1		140	8,022	5	1	7	747	93	130	977	10	57	3,637	2,358
1,933		1	136	7,140	6		7	716	58	97	832	11	66	3,347	2,000
1,467	1	1	105	6,796	6		6	830	103	119	878	18	58	3,257	1,521
1,342	1		105	6,718	13		8	970	60	62	968	10	62	3,194	1,371
851		1	63	6,211	9		2	830	15	25	778	23	68	3,599	862
520	1		76	5,058	3		2	418	9	37	663	34	61	3,302	529
358			91	3,839	6			276	5	8	454	47	69	2,591	383

表-15 曜日別月別救急出場件数調

(平成20年中)

事故種別 区分		火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	そ の 他				計
												転院 搬送	医師 搬送	資機 材等 輸送	その 他	
曜 日 別	月	33	1	7	928	76	41	1,096	48	147	5,449	1,725		1	171	9,723
	火	32		11	937	81	35	1,149	52	148	5,236	1,731	2		144	9,558
	水	19	1	18	947	87	39	1,112	36	136	5,383	1,658	2	1	140	9,579
	木	25	1	7	884	69	37	1,128	41	152	5,207	1,665	1		159	9,376
	金	30	1	3	945	90	30	1,138	44	133	5,141	1,786	1	1	152	9,495
	土	38		13	908	62	117	1,226	50	121	5,387	1,474		1	159	9,556
	日	21	1	13	736	33	215	1,393	66	138	5,540	953		1	157	9,267
計		198	5	72	6,285	498	514	8,242	337	975	37,343	10,992	6	5	1,082	66,554
月 別	1月	21		5	455	27	18	730	30	64	3,533	952	1	1	108	5,945
	2月	13		1	465	47	22	664	19	66	3,358	1,006		1	99	5,761
	3月	25	1	7	555	46	40	671	24	90	3,290	991		1	110	5,851
	4月	11		3	520	46	34	630	31	92	2,982	934	1		66	5,350
	5月	15		11	563	36	55	607	24	87	2,847	805	2		80	5,132
	6月	9	1	7	433	37	44	602	30	79	2,707	852		1	70	4,872
	7月	15	1	7	578	51	65	701	28	94	3,195	944		1	108	5,788
	8月	17		10	547	37	55	712	37	84	3,115	828			85	5,527
	9月	14	2	5	478	34	47	628	25	95	2,761	831	1		68	4,989
	10月	16		3	538	43	61	751	19	96	2,885	876			97	5,385
	11月	15		3	519	26	47	763	33	69	3,087	920	1		96	5,579
	12月	27		10	634	68	26	783	37	59	3,583	1,053			95	6,375

第4 応急手当指導員等養成講習の状況

表-16

【指導員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成20年中修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	22	13	2		7	11	28
	応急手当指導員講習Ⅱ	132	18		114			2
	応急手当指導員講習Ⅲ							
	消防長認定者	31	28			3		
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	12	10			2		
	計	197	69	2	114	12	11	30
前年中までの修了者	応急手当指導員講習Ⅰ	557	488	20		49	21	100
	応急手当指導員講習Ⅱ	819	369	3	447		1	64
	応急手当指導員講習Ⅲ	1	1					
	消防長認定者	394	346	9		39	9	
	応急手当指導員講習Ⅰ免除者	92	91	1				
	計	1,863	1,295	33	447	88	31	164
合計	2,060	1,364	35	561	100	42	194	

※指導員は2,070人いるが、講習を修了した者のうち区分不明者が10人いる。

表-17

【普及員】

区分	講習修了者数						登録を抹消した者	講習回数
	計	消防職員	消防職員の退職者	消防団員	救命士等の医療従事者	その他		
平成20年中修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	44			19		25	1
	応急手当普及員講習Ⅱ							
	消防長認定者	17	8				9	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	61	8		19		34	1
前年中までの修了者	応急手当普及員講習Ⅰ	151	72			1	78	7
	応急手当普及員講習Ⅱ	13				13		13
	消防長認定者	98	86	6		6	6	
	応急手当普及員講習Ⅱ免除者							
	計	262	158	6		20	78	19
合計	323	166	6	19	20	112	19	

第2 救助活動の概況

1 救助業務実施体制

助

隊である。

また、396人の救助隊員のうち43.9%にあたる174人が専任救助隊員である。

表-18 救助体制

(単位：隊、人)

区分 消防本部名	救助隊数			救助隊員数			
	省 令	専任救助隊	兼任救助隊	計	専任救助隊員	兼任救助隊員	計
鹿児島市消防局	3	3		3	42		42
	4	2		2	28		28
	5	1		1	14		14
出水市消防本部	3	1		1	8		8
	4						
	5						
垂水市消防本部	3		1	1		8	8
	4						
	5						
薩摩川内市消防局	3	1	1	2	12	9	21
	4	1		1	12		12
	5						
日置市消防本部	3		1	1		10	10
	4						
	5						
霧島市消防局	3		2	2		12	12
	4						
	5						
いちき串木野市消防本部	3		1	1		5	5
	4						
	5						
さつま町消防本部	3		1	1		15	15
	4						
	5						
指宿地区消防組合	3		1	1		10	10
	4						
	5						
始良郡西部消防組合	3	1		1	8		8
	4						
	5						
南薩地区消防組合	3		2	2		30	30
	4						
	5						
阿久根地区消防組合	3		1	1		14	14
	4						
	5						
伊佐湧水消防組合	3		2	2		23	23
	4						
	5						
大隅曾於地区消防組合	3	2		2	20		20
	4	1		1	10		10
	5						
大隅肝属地区消防組合	3	1	2	3	10	30	40
	4	1		1	10		10
	5						
沖永良部与論地区広域事務組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
徳之島地区消防組合	3		1	1		18	18
	4						
	5						
熊毛地区消防組合	3		1	1		15	15
	4						
	5						
大島地区消防組合	3		1	1		8	8
	4						
	5						
県計	3	9	19	28	100	222	322
	4	5		5	60		60
	5	1		1	14		14

※ 省令3は省令第3条の規定による救助隊、省令4は省令第4条の規定による救助隊（特別救助隊）、省令5は省令第5条の規定による救助隊（高度救助隊）

表-19 救助隊が搭乗する車両

区分 消防本部名	救 助 車	はしご車	屈はしご車	折はしご車	ポンプ車	水槽付ポンプ車	化学車	その他	計
	鹿児島市消防局	3							
出水市消防本部	1	1							2
垂水市消防本部								1	1
薩摩川内市消防局	1					1			2
日置市消防本部	1								1
霧島市消防局	2	2							4
いちき串木野市消防本部	1	1							2
三島村									
十島村									
さつま町消防本部	1								1
指宿地区消防組合	1	1				2		2	6
始良郡西部消防組合	1								1
南薩地区消防組合	2	1	1						4
阿久根地区消防組合	1								1
伊佐湧水消防組合	2								2
大隅曾於地区消防組合	2	1							3
大隅肝属地区消防組合	1	1						1	3
沖永良部与論地区広域事務組合	1								1
徳之島地区消防組合	1								1
熊毛地区消防組合	1								1
大島地区消防組合	1	1			1				3
県計	24	9	1		1	3		4	42

2 救助業務実施状況

表-20 平成元年以降の救助業務実施状況の推移

(単位：件、人)

	出動件数	活動件数	救助人員
平成元年	805	278	353
平成2年	857	253	298
平成3年	956	250	300
平成4年	1,028	297	350
平成5年	1,185	357	4,955
平成6年	1,221	307	358
平成7年	1,049	306	332
平成8年	1,126	330	344
平成9年	1,138	359	415
平成10年	1,107	405	440
平成11年	1,137	428	495
平成12年	1,093	500	583
平成13年	1,158	519	594
平成14年	1,188	505	613
平成15年	1,153	458	548
平成16年	1,320	491	570
平成17年	1,259	591	552
平成18年	757	452	664
平成19年	772	484	732
平成20年	716	462	527

平成20年中における救助業務の実施状況は、表-20のとおりであり、救助出動件数716件、救助活動件数462件、救助人員527人となっている。

これを前年と比較すると出動件数は56件（7.3%）の減少、活動件数は22件（4.5%）の減少、救助人員は205人（28.0%）の減少となっている。

表-21-1 事故種別出動件数及び活動人員の状況

(単位：件、人)

区分	事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水自然災害等	機械による事故	建物等事故	ガス欠及事故	破裂事故	その他の事故	計
鹿児島市消防局		37	42	17		4	14	10		38	162
出水市消防本部			24	4		1		1		9	39
垂水市消防本部			6	1						1	8
薩摩川内市消防局		1	16	3		1	2	1		10	34
日置市消防本部			18	2		1				4	25
霧島市消防局			60	5		2		1		16	84
いちき串木野市消防本部			10	2							12
三島村											
十島村											
さつま町消防本部			14			1				2	17
指宿地区消防組合		1	15	3	1					10	30
始良郡西部消防組合			20	3		2	1	1		17	44
南薩地区消防組合		13	46	4		6	1	1		8	79
阿久根地区消防組合			11			1				1	13
伊佐湧水消防組合			16	2					1	3	22
大隅曾於地区消防組合			43			2				7	52
大隅肝属地区消防組合			15	2		2	1			9	29
沖永良部与論地区広域事務組合			2			2				2	6
徳之島地区消防組合			1	1						3	5
熊毛地区消防組合			8	2		1				5	16
大島地区消防組合			21	1						17	39
救助出動件数 計		52	388	52	1	26	19	15	1	162	716
救助出動人員	専任救助隊員	242	711	157		56	97	65		396	1,724
	兼任救助隊員		429	43		22	1	5	1	188	689
	消防隊員	915	1,044	246	3	65	77	78	1	430	2,859
	救急隊員	148	1,418	157		75	53	42	3	451	2,347
	消防団員	802		18						43	863
	計	2,107	3,602	621	3	218	228	190	5	1,508	8,482

表-21-2 事故種別活動件数及び活動人員の状況

(単位：件、人)

事故種別	火災	交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等事故	ガス欠及び事故	破裂事故	その他の事故	計
消防本部名											
鹿児島市消防局	37	37	15			3	11	10		34	147
出水市消防本部		14	3					1		7	25
垂水市消防本部		4	1								5
薩摩川内市消防局	1	6	1			1	2	1		9	21
日置市消防本部		11	2			1				1	15
霧島市消防局		21	3							10	34
いちき串木野市消防本部		7	1								8
三島村											
十島村											
さつま町消防本部		10				1				2	13
指宿地区消防組合	1	15	3	1						10	30
始良郡西部消防組合		13	3			2		1		12	31
南薩地区消防組合	13	24	2			3	1	1		5	49
阿久根地区消防組合		9				1					10
伊佐湧水消防組合		1	1							2	4
大隅曾於地区消防組合		20				2				5	27
大隅肝属地区消防組合		6	1			1				4	12
沖永良部与論地区広域事務組合		1								2	3
徳之島地区消防組合		1	1							3	5
熊毛地区消防組合		4				1				4	9
大島地区消防組合		3	1							10	14
救助活動件数 計	52	207	38	1	16	14	14			120	462
救助活動人員	専任救助隊員	212	301	100		31	75	54		232	1,005
	兼任救助隊員		184	27		8		2		104	325
	消防隊員	586	546	164	3	44	52	73		297	1,765
	救急隊員	86	714	101		50	42	39		327	1,359
	消防団員	273		16						24	313
	計	1,157	1,745	408	3	133	169	168		984	4,767

(注) 「救助活動件数」とは、救助活動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

表-21-3 事故種別救助人員の状況

(単位：人)

事故種別 消防本部名	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風自 水然 害災 等害	機事 械に よる 故	建よ 物る 等事 に故	ガ酸 ス欠 及事 び故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
鹿児島市消防局	5	54	15		1	9	3		31	118
出水市消防本部		19	3				1		7	30
垂水市消防本部		27	2							29
薩摩川内市消防局		6	1		1	2	1		9	20
日置市消防本部		13	2		1				1	17
霧島市消防局		23	3						8	34
いちき串木野市 消防本部		10	2							12
三島村										
十島村										
さつま町消防本部		12			1				2	15
指宿地区消防組合	2	17	10	1					10	40
始良郡西部消防組合		15	3		2				12	32
南薩地区消防組合		32	2		3	1	1		5	44
阿久根地区消防組合		11			1					12
伊佐湧水消防組合		9	10						13	32
大隅曾於地区消防組合		23			2				5	30
大隅肝属地区消防組合		7	1		1				4	13
沖永良部与論地区 広域事務組合		4							14	18
徳之島地区消防組合		1	2						3	6
熊毛地区消防組合		4			1				4	9
大島地区消防組合		3	1						12	16
救助人員 計	7	290	57	1	14	12	6		140	527

表-22 救助活動のための機械器具等の保有状況（救助隊保有分）

一般 用 救 助 用 器 具	かぎ付きはしご	29	隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋	104
	三連はしご	27		耐電衣	27
	金属折りたたみはしご又はワイヤはしご	20		耐電ズボン	24
	空気式救助マット	23		耐電長靴	71
	救命索発射銃	36		防塵メガネ	120
	サバイバースリング又は救助用縛帯	87		携帯警報器	55
	平担架	16		防毒マスク	64
	重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ		33	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）
油圧スプレッダー		14	陽圧式化学防護服	25	
可搬ウィンチ		31	耐熱服	19	
マンホール救助器具		11	放射線防護服	59	
救助用簡易起重機		2	特殊ヘルメット	7	
マット型空気ジャッキ		35	除器 染 用 具	除染シャワー	
大型油圧スプレッダー		15	除染剤散布器		
救助用支柱器具		5	水	潜水器具	73
切 断 用 器 具	チェーンブロック	8	難	救命胴衣	221
	油圧切断機	18	救	水中投光器	23
	エンジンカッター	32	助	救命浮環	86
	ガス溶断機	19	用	浮標	21
	チェーンソー	30	器	救命ボート	7
	鉄線カッター	40	具	船外機	9
	空気鋸	23	山 用 助 岳 器 具	水中スクーター	1
	大型油圧切断機	15	検 用 器 具	水中無線機	3
破 壊 用 器 具	空気切断機	12	水中時計	8	
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	6	水中テレビカメラ	1	
	万能斧	68	登山器具	12	
	ハンマー	33	バスケット型担架	29	
	携帯用コンクリート破壊器具	9	簡易画像探索機	4	
	削岩機	16	画像探索機	7	
	ハンマドリル	10	高 度 救 助 器 具	地中音響探知機	2
	測 定 用 器 具	生物剤検知器	2	熱画像直視装置	5
可燃性ガス測定器		21	夜間暗視装置	2	
有毒ガス測定器		23	水中探査装置	1	
酸素濃度測定器		14	地震警報器	1	
放射線測定器		10	そ の 他 の 救 助 用 器 具	投光器	44
呼 吸 保 護 用 器 具	空気呼吸器	153	携帯投光器	38	
	空気補充用ボンベ	169	携帯拡声器	47	
	酸素呼吸器	24	携帯無線機	48	
	簡易呼吸器	4	応急処置用セット	21	
	防塵マスク	94	車両移動器具	7	
	送排風機	24	緩降機	24	
	エアラインマスク	2	ロープ登降機	34	
			救助用降下機	8	
			発電機	43	

第3 自衛隊災害派遣による急患搬送

離島における医療体制の実情により、現地では治療困難な患者で、一刻も早く専門病院での手当てが必要である者に対して、昭和36年から自衛隊に対し、災害派遣要請（航空機搬送）を実施している。

搬送機関・活動範囲

海上自衛隊第一航空群 鹿屋航空分遣隊（鹿屋市）
 十島村以北
 陸上自衛隊第一混成団 第101飛行隊（沖縄県那覇市）
 奄美大島以南

1 自衛隊災害派遣（離島急患搬送）の状況

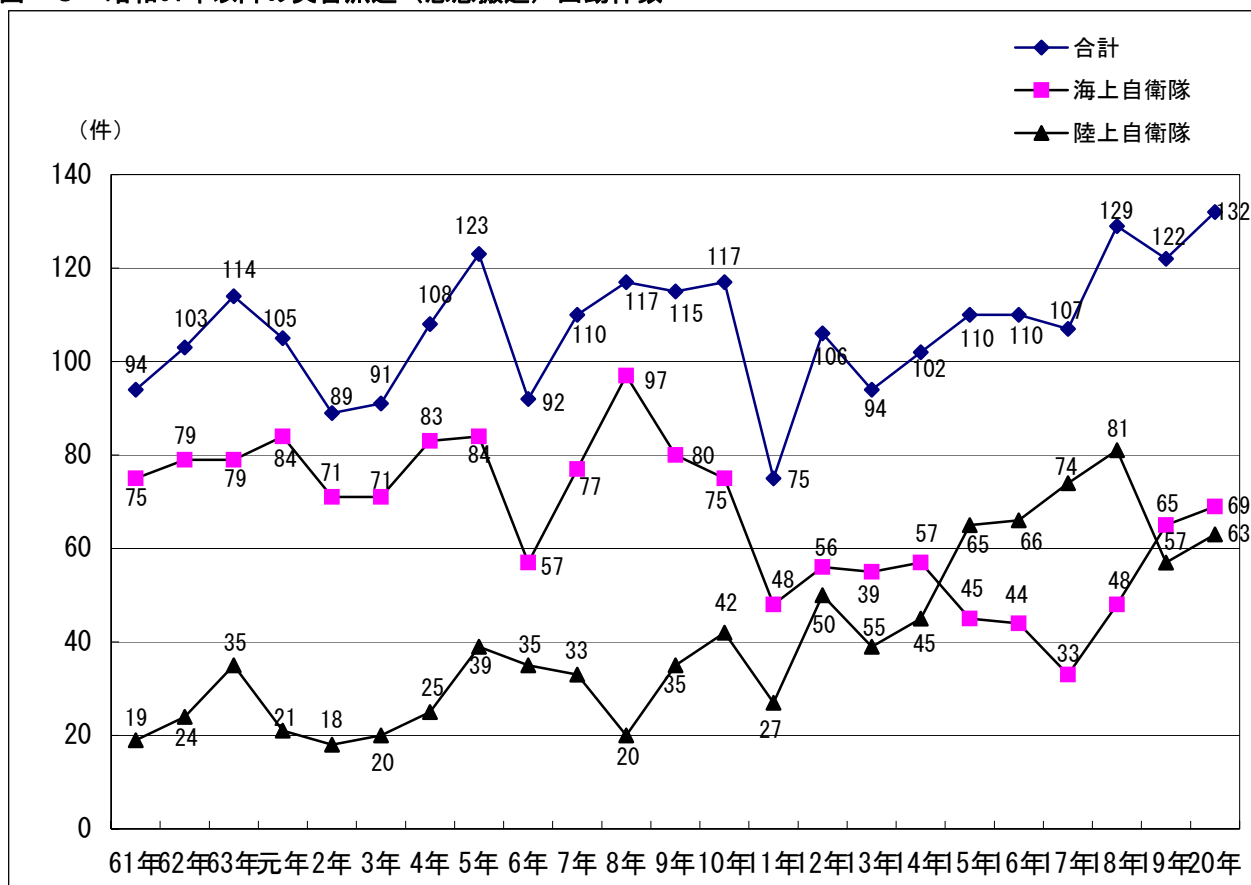
平成20年中における急患搬送出動件数は132件である。（図-3）

出動件数132件を郡別にみると、大島郡（奄美市を含む）が79件（全体の59.9%）で、次に熊毛郡（西之表市を含む）が35件（同26.5%）、鹿児島郡等が16件（同12.1%）、薩摩川内市が2件（同1.5%）となっている。（図-4及び表-23）

また、月別では、1月の21件が最も多く、時間帯別（派遣時間）では22時から24時までが23件で最も多くなっている。（表-24）

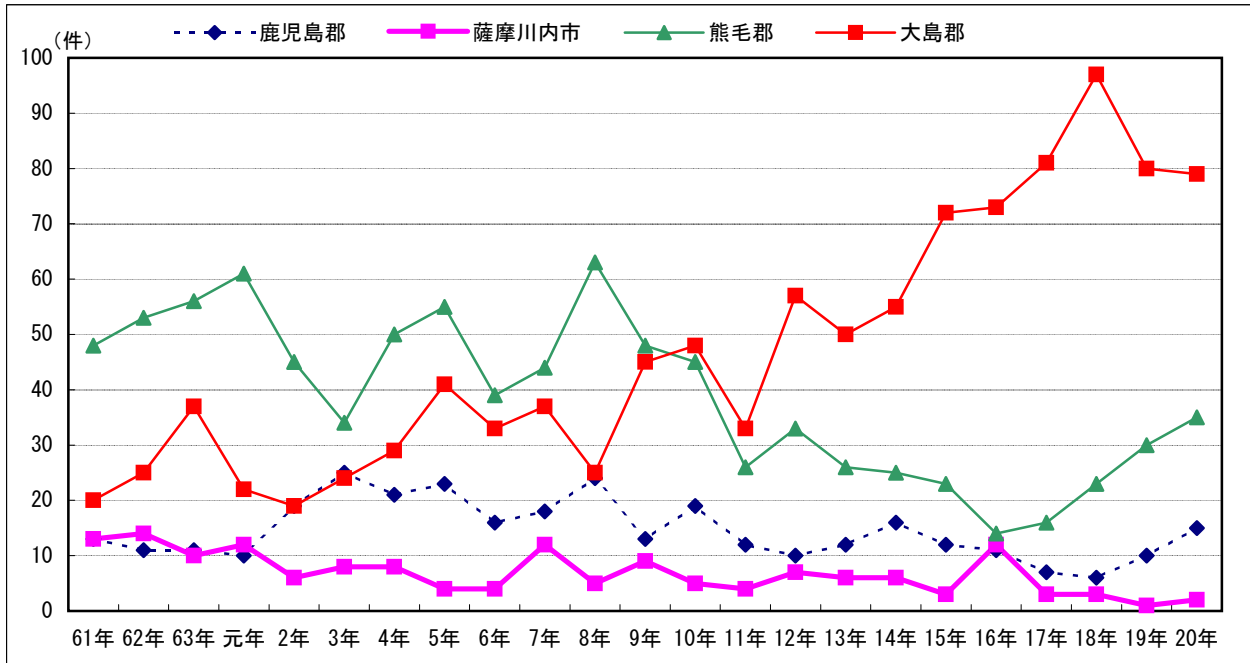
平成20年中の搬送人員を傷病別にみると、内臓疾患によるものが45人（全体の34.4%）で最も多く、次に産科・婦人科がそれぞれ23人（全体の17.6%）となっている。（表-25）

図-3 昭和61年以降の災害派遣（急患搬送）出動件数



（注）「海上自衛隊」には、教育航空集団を、「陸上自衛隊」には南西航空混成団をそれぞれ含んでいる。

図－4 昭和61年以降の郡別災害派遣（急患搬送）の出動件数（その1）



表－23 昭和61年以降の郡別災害派遣（急患搬送）出動件数（その2）

（年中）

年	郡別	計	鹿児島郡	薩摩川内市	熊本郡	大島郡	計のうち不搬送件数
61		94 (19)	13	13	48	20 (19)	鹿屋1件
62		103 (24)	11	14	53	25 (24)	鹿屋2件
63		114 (35)	11	10	56	37 (35)	鹿屋3件
平成	元年	105 (21)	10	12	61	22 (21)	鹿屋1件
	2	89 (18)	19 (1)	6	45	19 (17)	鹿屋3件, 沖縄1件
	3	91 (20)	25	8	34	24 (20)	
	4	108 (25)	21	8	50	29 (25)	鹿屋1件
	5	123 (39)	23	4	55	41 (39)	鹿屋1件
	6	92 (35)	16 (2)	4	39	33 (33)	沖縄1件
	7	111 (33)	18	12	44	37 (33)	
	8	117 (21)	24	5	63	25 (21)	
	9	115 (35)	13	9	48	45 (35)	鹿屋1件
	10	117 (42)	19	5	45	48 (42)	鹿屋1件
	11	75 (27)	12	4	26	33 (27)	鹿屋1件
	12	107 (50)	10	7	33	57 (50)	鹿屋2件
	13	94 (39)	12	6	26	50 (39)	鹿屋2件
	14	102 (45)	16	6	25	55 (45)	鹿屋2件
	15	110 (65)	12	3	23	72 (65)	
	16	110 (66)	11	12	14	73 (66)	
	17	107 (74)	7	3	16	81 (74)	
	18	129 (81)	6 (1)	3	23	97 (80)	鹿屋1件
	19	122 (57)	11	1	30	80 (57)	鹿屋2件, 沖縄2件
	20	132 (63)	16	2	35	79 (63)	鹿屋1件
	計	2,467 (871)	336 (4)	157	892	1082 (930)	沖縄分構成比 (36.3%)
	構成比率	100.0%	13.6%	6.3%	36.2%	43.9%	

（注） 1 () 内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。

2 便宜上、熊本郡には西之表市、大島郡には奄美市をそれぞれ含めている。

3 平成7年、12年、14年、19年及び20年の鹿児島郡には、各年1件ずつ、離島外からの搬送を

表-24 昭和61年以降の月別及び時間帯別災害派遣（離島急患搬送）出動件数

年別 区分		61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9
月 別	1	8 (1)	9 (2)	14 (8)	10 (2)	5 (1)	4 (1)	9 (3)	12 (5)	10 (4)	11 (4)	8 (1)	9 (2)
	2	11 (3)	9 (2)	11 (2)	5	11	8	6 (3)	5	7 (1)	12 (8)	12 (4)	11 (4)
	3	5	11 (2)	3 (1)	6 (2)	12 (2)	8 (1)	12 (2)	9 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (2)	8 (3)
	4	5 (1)	13 (2)	13 (2)	7 (1)	4	8 (1)	5 (2)	6 (1)	7 (2)	7 (1)	7 (2)	15 (9)
	5	5 (1)	7	7 (3)	9 (1)	9 (1)	8 (3)	10 (2)	13 (2)	7 (5)	10 (4)	9	8 (2)
	6	6 (1)	5	7	11 (2)	4 (2)	9 (2)	7	8 (3)	6 (3)	7	7 (1)	7 (1)
	7	7 (3)	10 (1)	9 (5)	9	3	5 (2)	7 (1)	7 (2)	11 (5)	8 (2)	13 (1)	7 (2)
	8	15 (3)	5 (2)	11 (4)	11 (1)	10 (2)	8 (4)	8 (1)	11 (1)	5 (2)	11 (4)	14 (3)	12 (2)
	9	9 (2)	7 (3)	11 (3)	8 (4)	9 (2)	9 (2)	10 (4)	17 (8)	12 (6)	10 (4)	9 (2)	3 (1)
	10	12 (1)	6	10 (3)	7	7 (2)	7 (1)	14 (3)	13 (5)	8 (3)	15 (2)	10 (2)	14 (4)
	11	6 (1)	9 (6)	9 (2)	6 (2)	7 (4)	7 (1)	8 (2)	5 (2)	5	7 (2)	5 (1)	8 (1)
	12	5 (2)	12 (4)	9 (2)	16 (6)	8 (2)	10 (2)	12 (2)	17 (9)	8 (3)	6 (1)	16 (2)	13 (4)
計		94 (19)	103 (24)	114 (35)	105 (21)	89 (18)	91 (20)	108 (25)	123 (39)	92 (35)	110 (33)	117 (21)	115 (35)
時 間 別	0~2	4 (2)	6 (3)	4 (2)	5 (3)	2 (2)	2 (1)	3 (3)	2 (1)	6 (2)	2	6 (3)	3 (1)
	2~4	4 (1)	6 (3)	4 (3)	1	2 (2)		4 (1)	3 (2)	1	3 (2)	4	3
	4~6	2 (2)	1		2	2		3 (2)	2 (2)	1	2	2	5 (2)
	6~8	1	2	6 (3)	5 (1)	4	3 (1)	5	2 (1)	2	5 (2)	6	7 (3)
	8~10	10 (1)	6	8	13 (4)	6	16 (1)	9 (1)	13 (3)	10 (3)	8 (1)	11 (2)	7 (3)
	10~12	18 (1)	12 (1)	12 (1)	9	16 (2)	14 (5)	18 (5)	19 (4)	18 (7)	16 (4)	13 (2)	20 (9)
	12~14	11 (2)	13 (2)	21 (5)	18 (3)	9 (1)	15 (2)	22 (4)	20 (11)	15 (6)	17 (3)	13 (1)	11 (1)
	14~16	11 (2)	19 (2)	10 (3)	13 (1)	18 (4)	11 (2)	12 (3)	17 (4)	12 (8)	21 (5)	18 (2)	13 (2)
	16~18	11 (2)	9 (2)	15 (4)	14 (5)	11 (3)	14 (6)	11 (3)	14 (3)	6 (2)	9 (1)	10 (3)	13 (5)
	18~20	12 (2)	9 (4)	10 (1)	12 (2)	9 (2)	5 (1)	6	16 (5)	10 (2)	13 (8)	18 (6)	21 (6)
	20~22	5 (2)	15 (5)	13 (5)	8 (1)	5	5 (1)	8 (2)	8 (1)	3 (1)	9 (5)	5	8 (2)
22~24	5 (2)	5 (2)	11 (8)	5 (1)	5 (2)	6	7 (1)	7 (2)	8 (4)	5 (2)	11 (2)	4 (1)	

(注) 1 ()内は沖縄自衛隊出動件数の内書きである。
 2 「時間帯」は、自衛隊の派遣時間である。

(年中)

10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	61~20年
10 (2)	5 (1)	12 (8)	8 (5)	5 (2)	5 (2)	10 (6)	9 (5)	11 (5)	8 (4)	21 (11)	213 (85)
13 (5)	5 (2)	12 (6)	5 (3)	8 (5)	4 (4)	15 (10)	8 (8)	11 (8)	8 (3)	9 (4)	206 (85)
11 (6)	13 (5)	4 (1)	8 (2)	8 (4)	13 (5)	10 (4)	10 (7)	9 (7)	16 (10)	15 (6)	210 (75)
13 (4)	4 (3)	6 (3)	5 (2)	2 (1)	8 (5)	9 (5)	10 (7)	11 (7)	9 (6)	9 (3)	183 (70)
8 (3)	9 (4)	9 (6)	6 (1)	11 (3)	11 (9)	7 (6)	11 (7)	7 (6)	4 (1)	9 (6)	194 (76)
9 (7)	2	11 (6)	7 (5)	5 (4)	12 (5)	4 (3)	8 (6)	11 (5)	10 (4)	5 (3)	168 (63)
11 (6)	11 (5)	7 (4)	6 (3)	13 (7)	9 (5)	7 (4)	7 (6)	11 (7)	2 (2)	7 (4)	187 (77)
10 (1)	5	9 (4)	8 (2)	7 (4)	5 (3)	4 (2)	5 (5)	13 (7)	11 (6)	10 (5)	208 (68)
4 (1)	4 (2)	7 (1)	10 (4)	14 (3)	8 (7)	15 (11)	8 (5)	8 (4)	7 (3)	4 (2)	203 (84)
10 (4)	3 (2)	11 (4)	9 (4)	13 (5)	13 (5)	10 (7)	13 (10)	6 (5)	21 (8)	12 (4)	244 (84)
3 (1)	6	12 (5)	17 (4)	8 (2)	11 (7)	11 (6)	8 (4)	17 (9)	13 (4)	18 (8)	206 (74)
15 (2)	8 (3)	6 (2)	5 (4)	8 (5)	11 (8)	8 (2)	10 (4)	14 (11)	13 (6)	13 (7)	243 (93)
117 (42)	75 (27)	106 (50)	94 (39)	102 (45)	110 (65)	110 (66)	107 (74)	129 (81)	122 (57)	132 (63)	2465 (934)
2	4	5 (1)	2 (1)	6	10 (6)	6 (3)	3 (3)	6 (3)	2 (1)	6 (1)	97 (42)
1 (1)		5 (1)	5 (3)	9 (4)	2 (1)	2 (1)	4 (2)	3 (2)	2 (1)	4 (2)	72 (32)
4 (2)	1 (1)	10 (8)	6 (1)	3 (1)	2	5 (4)	4 (2)	5 (3)	5 (2)	3 (2)	70 (34)
4 (3)	3	4 (2)	2 (2)	3 (3)	3 (2)	6 (3)	10 (8)	5 (3)	7 (4)	3	98 (41)
11 (6)	8 (4)	11 (9)	6 (4)	11 (6)	19 (16)	13 (9)	7 (5)	11 (5)	13 (4)	13 (4)	240 (91)
17 (7)	8 (7)	9 (6)	12 (6)	12 (6)	21 (12)	21 (15)	14 (9)	21 (14)	19 (11)	12 (6)	351 (140)
20 (7)	8 (3)	4 (3)	8 (5)	8 (4)	9 (7)	11 (6)	11 (10)	19 (13)	11 (7)	15 (11)	309 (117)
15 (6)	11 (3)	8 (4)	8 (3)	8 (5)	6 (6)	12 (10)	8 (5)	5 (3)	10 (5)	18 (10)	284 (98)
14 (4)	12 (3)	14 (5)	16 (4)	12 (4)	12 (6)	9 (3)	14 (9)	18 (15)	10 (3)	11 (8)	279 (103)
10 (3)	8 (4)	17 (3)	8 (4)	16 (8)	5 (1)	11 (7)	9 (6)	13 (7)	21 (5)	11 (4)	270 (91)
14 (2)	8 (2)	9 (2)	9 (3)	9 (4)	14 (5)	9 (3)	14 (8)	11 (8)	13 (8)	13 (5)	215 (75)
5 (1)	4	10 (6)	12 (3)	5	7 (3)	5 (2)	9 (7)	12 (5)	9 (6)	23 (10)	180 (70)

表-25 平成20年中の市町村別搬送人員傷病別内訳

傷病別 市町村別		合 計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
			頭部	その他	頭部	その他						
鹿 児 島 郡	三 島 村	5									5	
	十 島 村	10					2	1		1	4	2
薩摩川内市		2									1	1
熊 毛 郡 (西之表市含)	西之表市	21		1		2	2		8	3	5	
	中種子町											
	南種子町	1										1
	屋久島町	13	1				6		1	2	3	
大 島 郡 (奄美市含)	奄 美 市	16 (4)					1		7 (2)		7 (2)	1
	龍 郷 町											
	大 和 村											
	宇 検 村											
	瀬戸内町											
	喜 界 町	17 (16)				1 (1)	10 (9)	1 (1)			3 (3)	2 (2)
	徳之島町	19 (18)					2 (2)		5 (5)	8 (7)	4 (4)	
	天 城 町	3 (2)					1 (1)				2 (1)	
	伊 仙 町	3 (3)								1 (1)	1 (1)	1 (1)
	和 泊 町	11 (11)					3 (3)		2 (2)	1 (1)	5 (5)	
	知 名 町	8 (8)								2 (2)	5 (5)	1 (1)
与 論 町	2 (2)					2 (2)						
計		131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)

(注1) () 内は、沖縄自衛隊搬送人員の内書きである。

(注2) 鹿屋自衛隊への搬送要請において不搬送1件、離島外の搬送1件発生。

(注3) 沖縄自衛隊への搬送要請において1回で2名の搬送が1件発生。

表-26 昭和61年以降の離島急患搬送人員及び傷病別内訳

(年中)

傷病別 年別	計	交通事故		労働災害		脳疾患	頭部損傷 (一般負傷)	産科・ 婦人科	小児科	内臓疾患	その他
		頭部	その他	頭部	その他						
61	97 (20)	3 (1)	4 (1)			31 (3)	12 (2)		3 (1)	26 (3)	18 (9)
62	105 (25)	8 (3)	2 (1)	2	3	26 (3)	9 (2)	3 (1)	5 (3)	35 (10)	12 (2)
63	116 (37)	4 (1)	11 (3)		6 (2)	34 (12)	2	8 (5)	13 (6)	23 (4)	15 (4)
元	106 (21)	2 (2)	8 (1)	3 (1)	1	39 (5)	7 (3)	3 (1)	16	21 (7)	6 (1)
2	87 (17)	6 (3)	4	1		32 (3)	3 (1)	2 (2)	5 (1)	17 (3)	17 (4)
3	93 (21)	3	5 (3)	3 (1)	7 (2)	21 (5)	1	6	5	20 (4)	22 (6)
4	109 (25)	4	1		7	33 (4)	7 (1)	2 (2)	7	41 (15)	7 (3)
5	125 (41)	1 (1)				54 (13)	8 (2)	10 (5)	5 (1)	30 (15)	17 (4)
6	93 (33)	3 (2)	2 (1)		3	26 (12)	7 (4)	10 (3)	1	29 (9)	12 (2)
7	114 (33)	1 (1)	3	1	4	35 (12)	10 (5)	10 (5)		48 (10)	2
8	126 (25)	5 (1)	5 (1)		5 (2)	28 (4)	14 (2)	5 (2)	2 (2)	60 (11)	2
9	116 (37)	1 (1)	2 (1)	4 (1)	5 (1)	32 (10)	3 (1)	3 (1)	11 (4)	51 (16)	4 (1)
10	117 (43)	1 (1)	3 (2)		3	33 (11)	2 (1)	10 (6)	6 (1)	52 (18)	7 (3)
11	75 (28)	2	1 (1)	1	1	13 (6)	5 (2)	6 (2)	4	37 (15)	5 (2)
12	106 (51)	3 (2)	1 (1)		2	30 (18)	3 (3)	12 (6)	7 (3)	45 (18)	3
13	92 (39)	1 (1)	2	2 (1)	5 (1)	20 (9)	2 (2)	4 (3)	5 (2)	41 (16)	10 (4)
14	102 (46)	1 (1)	4 (3)		4 (2)	15 (5)	7 (3)	5 (4)	13 (8)	48 (18)	5 (2)
15	110 (66)	2 (1)	2 (1)		4 (1)	30 (15)	3 (1)	12 (11)	10 (9)	38 (22)	9 (5)
16	111 (66)	1 (1)	1 (1)		1	23 (11)	2 (1)	13 (8)	20 (16)	47 (28)	3
17	103 (71)		1			21 (16)	4 (2)	21 (15)	5 (5)	46 (30)	5 (3)
18	126 (79)		4 (4)	1 (1)	2 (1)	24 (9)		29 (20)	11 (7)	51 (35)	4 (2)
19	117 (55)		1 (1)		4 (2)	19 (11)		21 (11)	15 (7)	47 (20)	10 (3)
20	131 (64)	1	1		3 (1)	29 (17)	2 (1)	23 (9)	18 (11)	45 (21)	9 (4)

(注) 本表は、鹿屋の自衛隊第1航空群及び沖縄の陸上自衛隊第1混成団(内書き)が搬送した人員である。

第4 消防・防災ヘリコプターの活動

1 消防・防災ヘリコプターの導入

県では、大規模災害時における広範な消防防災活動を行うほか、急患搬送、災害危険箇所の調査点検などに幅広く活用するとともに、災害時の被害状況をよりの確かつ迅速に把握するため、消防・防災ヘリコプター「さつま」を導入し、平成10年4月1日、運航拠点となる枕崎空港に防災航空センターを設置するとともに枕崎、指宿、南さつまの3消防組合・本部から派遣された消防職員6名で編成する鹿児島県防災航空隊を発足させた。

2 消防・防災ヘリコプターの活動内容

消防・防災ヘリコプターは以下の活動を行うこととしている。

(1) 災害応急対策活動

- ア 被災状況等の調査及び情報収集活動
- イ 食料、衣料その他の生活必需品及び復旧資材等の救援物資、人員等の搬送
- ウ 災害に関する情報、警報等の伝達等広報宣伝活動
- エ その他、災害応急対策活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(2) 救急活動

- ア 山村、離島等からの救急患者の搬送
- イ 傷病者発生地への医師搬送及び医療機材等の搬送
- ウ 高度医療機関のない地域からの傷病者の病院搬送
- エ その他、救急活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(3) 火災防御活動

- ア 林野火災等における空中からの消火活動
- イ 被災状況調査及び情報収集活動
- ウ 消防隊員、消防資機材等の搬送
- エ その他、火災防御活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(4) 救助活動

- ア 河川、海等での水難事故、山岳遭難事故等における捜索または救助
- イ 高層建築物火災における救助
- ウ 山崩れ等の被害により、陸上から接近できない被災者等の救助
- エ 高速道路及び自動車専用道路での事故救助
- オ その他、救助活動上、特に、航空機による活動が有効と認められる場合

(5) 広域航空消防防災応援活動

- ア 県が締結している他県との相互応援協定等による相互応援

(6) 災害予防活動

- (7) 自隊訓練のための活動
- (8) 各種防災訓練等への参加等
- (9) その他知事が必要と認める活動

表-27 消防・防災ヘリコプター「さつま」の諸元・性能

型 式	ベル式412EP型
定 員	15名
最 大 全 装 備 重 量	5,398kg
空 虚 重 量	3,124kg
有 効 搭 載 量	2,274kg
航 続 距 離	656km
最 大 巡 航 速 度	259km/h
限 界 高 度	6,096m
全 長	17.1m
全 幅	2.9m
全 高	4.6m
消 火 用 水 積 載 量	1,400ℓ (ドロップタンク)

表-28 消防・防災ヘリコプターの運航状況

(平成20年)

区分	月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	総計		
緊急運航	災害応急対策活動	件数		2	1	1		1	1		1	1			8	61件 99時間45分	
		時間		2:05	1:20	1:40		1:50	6:40		2:05	1:55			17:35		
	救急活動	件数	3	6	8	6	7	2	1	4	1	2	4	2	46		
		時間	4:15	9:55	12:20	8:20	12:10	4:30	1:55	6:15	1:50	2:15	5:50	2:40	72:15		
	火災防衛活動	件数		1											1		
		時間		1:45											1:45		
	救助活動	件数				1	1			2	2				6		
		時間				1:30	1:20			2:35	2:45				8:10		
	広域応援	件数													0		
		時間													0:00		
	災害予防活動	件数				1	1							1	3		3件
		時間				1:20	1:00							2:20	4:40		4時間40分
合同訓練	他県広域関係	件数										1		1	24件 28時間40分		
		時間										3:15		3:15			
	県市町村関係	件数	3	1	2		2		1	2	1	3				15	
		時間	2:15	0:50	2:35		1:50		0:45	1:55	1:55	4:50				16:55	
	合同訓練事前訓練	件数		1			2	1		1		2		1		8	
		時間		1:20			2:15	1:15		1:10		1:55		0:35		8:30	
自隊訓練	件数	6	9	15	11	5	9	10	9	5	4	3	12	98	98件		
	時間	8:10	12:40	19:40	14:15	7:05	10:20	12:55	17:05	11:50	4:50	3:25	16:25	138:40	138時間40分		
その他	件数	4	3			1					1	10	3	22	22件		
	時間	7:05	9:45			0:25					1:20	6:55	3:10	28:40	28時間40分		
合計	件数	16	23	26	20	19	13	13	18	10	13	18	19	208	208件		
	時間	21:45	38:20	35:55	27:05	26:05	17:55	22:15	29:00	20:25	17:05	19:25	25:10	300:25	300時間25分		

表-29 消防・防災ヘリコプターの活動状況（H20年中）

(1) 災害応急対策活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	2/3	ア	鹿児島市桜島昭和火口	0:50
2	1	2/6	ア	鹿児島市桜島昭和火口	1:15
3	1	3/28	ア	垂水市・いちき串木野市	1:20
4	1	4/10	ア	枕崎市	1:40
5	1	6/18	ア	十島村(口之島)	1:50
6	1	7/8	ア	沖縄本島近海	6:40
7	1	9/6	ア	屋久島町(口永良部島)	2:05
8	1	10/1	ア	肝付町(新燃岳)	1:55
8件 8回 17時間35分					

(2) 救急活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	搬送人員	時 間
1	1	1/2	ウ	屋久島町	1	1:40
2	1	1/4	ウ	西之表市	1	1:15
3	1	1/8	ウ	西之表市	1	1:20
4	1	2/1	ウ	薩摩川内市(上甑)	1	1:15
5	1	2/7	ウ	屋久島町	1	1:35
6	1	2/7	ウ	南種子町	1	1:40
7	1	2/15	ア	十島村(中之島)	1	2:20
8	1	2/23	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:10
9	1	2/28	ウ	阿久根市	1	1:55
10	1	3/2	ウ	西之表市	1	1:15
11	1	3/14	ア	十島村(中之島)	1	2:30
12	1	3/24	ウ	南種子町	1	1:35
13	1	3/25	ウ	西之表市	1	1:20
14	1	3/28	ウ	南種子町	1	1:30
15	1	3/29	ウ	西之表市	1	1:15
16	1	3/30	ウ	屋久島町	1	1:50
17	1	3/31	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:10
18	1	4/5	ウ	屋久島町	1	1:30
19	1	4/21	ウ	西之表市	1	1:20
20	1	4/24	ウ	西之表市	1	1:20
21	1	4/24	ウ	屋久島町	1	1:20
22	1	4/26	ウ	西之表市	1	1:20
23	1	4/30	ア	三島村(黒島)	1	1:30
24	1	5/3	ウ	南種子町	1	1:35
25	1	5/4	ア	十島村(諏訪之瀬島)	1	2:50
26	1	5/5	ウ	屋久島町	1	1:30
27	1	5/7	ウ	西之表市	1	1:15
28	1	5/20	ウ	屋久島町	1	1:35
29	1	5/26	ウ	南種子町	1	1:30
30	1	5/29	ウ	鹿児島市	1	1:55
31	1	6/5	ウ	南種子町	1	1:25
32	1	6/27	ウ	鹿児島市	1	3:05
33	1	7/16	ウ	屋久島町	1	1:55
34	1	8/2	ア	十島村(諏訪之瀬島)	1	2:15
35	1	8/9	ウ	屋久島町	1	1:30
36	1	8/18	ウ	薩摩川内市(下甑)	1	1:10
37	1	8/24	ウ	西之表市	1	1:20
38	1	9/18	ウ	薩摩川内市(上甑)	1	1:50
39	1	10/9	ウ	西之表市	1	1:15
40	1	10/14	ア	三島村(竹島)	1	1:00
41	1	11/21	ウ	西之表市	1	1:20
42	1	11/21	ウ	南種子町	1	1:30
43	1	11/23	ウ	西之表市	1	1:35
44	1	11/26	ウ	屋久島町	1	1:25
45	1	12/19	ウ	西之表市	1	1:10
46	1	12/10	ウ	屋久島町	1	1:30
46件 46回 72時間20分						

(3) 火災防御活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	2/20	ア	肝付町	1:45
1件 1回 1時間45分					

(4) 救助活動状況

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
1	1	4/27	ア	霧島市	1:30
2	1	5/18	ア	霧島市	1:20
3	1	8/4	ア	屋久島町	1:35
4	1	8/24	ア	屋久島町	1:00
5	1	9/3	ア	屋久島町	1:10
6	1	9/25	ア	屋久島町	1:35
7	1				
8	1				
9	1				
10	1				
11	1				
12	1				
13	1				
14	1				
15	1				
16	1				
6件 6回 8時間10分					

(5) 広域航空消防防災応援活動

件数	回数	月 日	災害種別	発 生 場 所	時 間
0件 0回 0時間00分					

(6) 各種防火訓練等への参加等

件数	回数	月 日	訓練内容	訓練名及び実施場所	時 間
1	1	1/6	救助	知覧町出初式	0:20
2	1	1/6	救助	鹿児島市出初式	1:10
3	1	1/11	要員搬送	鹿児島県桜島火山爆発総合防災訓練	0:45
4	1	2/27	救助	鹿児島県消防学校初任科生訓練展示	0:50
5	1	3/2	救急	屋久島空港消火救難訓練	1:20
6	1	3/4	消火	鹿児島市春季火災予防運動消防演習	1:15
7	1	5/20	火災防衛	県総合防災訓練	1:00
8	1	5/25	救助	垂水市防災訓練	0:50
9	1	7/1	救助	鹿児島市「国民安全の日」防災合同訓練	0:45
10	1	8/31	救急	日置市総合防災訓練	0:45
11	1	8/31	救助	大隅曾於地区消防組合総合防災訓練	1:10
12	1	9/12	救急・救助	薩摩川内市消防局合同訓練	1:55
13	1	10/10	救助	指宿市開聞岳山岳救助訓練	1:10
14	1	10/19	救助	鹿児島市吉野東中学校総合防災訓練	0:55
15	1	10/21	要員搬送	離島火山対策点検・防災訓練	2:45
15件 15回 16時間55分					